

オンライン子ども環境教室
実施報告書
おしりのLEDが点滅するLEDホタルを作ろう

2020年8月12日

ECOボックスアドバイザー 嶋田和夫

実施日時；8月9日（日）14時00分~15時00分

実施場所；県民センター 9f ECOボックス事務所および参加者住居

対象； 県内の小学校1年生~5年生児童 9名+オブザーバー小田原市職員1名

講師； ECOボックス アドバイザー 嶋田和夫、 平川良信、

プログラムの進行と子供たちの様子；

オンライン子ども環境教室はエコボックスの講座としては初めての取り組みだったが関係者全員がZOOMによるリモート会議の参加経験を持っていたので実施に踏み切ったものです。

1 地球温暖化について

くまったくんとソラちゃんの案内で地球温暖化のスライドを見ました。最近多発する大型の台風や豪雨による災害も温暖化によってもたらされたとその原因が二酸化炭素の増えすぎによるかけ布団のせいだとわかりました。そこで二酸化炭素を増やさないような暮らし方として節電と省エネが大切なこと、石油を使わない太陽光や風力、水力、海の波などで発電できることもわかりました。

2 目指せホタル博士

「目指せホタル博士」のスライドを見ながら日本にいるホタルについて学び、クイズに答えるうちにホタルの一生と生き物たちの不思議について考えました。ホタルの見られる環境についても話し合いました。

3 LEDホタルの工作

ホタルの拡大画像とLED（発光ダイオード）を使っておしりが黄緑色に点滅する電子ホタルを作りました。電子ホタルは部品の数も少なくてノリとハサミと粘着テープだけでできるのでみんなすぐに組み立てられました。使用した部品がコイン電池とLEDとマグネットだけなので参加者は全員20分くらいの短時間で完成できました。

参加者と保護者のほぼ全員がリモート学習やリモートビズの経験者だったこともありアドバイザーの指導と保護者のサポートによって全く混乱はありませんでした。そのあと全員

の作品をそれぞれ点滅させながらみんなで「ホ、ホ、ホタルこい」の歌を合唱しました。液晶画面の中で点滅する沢山のホタルは本物そっくりに見えました。

今回のリモート講座と工作は想像以上に子供たちに強い印象を与えたようでオンラインリモートセミナーは成功だったと考えます。



開始時刻には9人の参加者全員の元気な笑顔が画面にそろいました



パワーポイントのスライドが参加者のPCやスマホの画面に再生されました



組み立て中の部品の説明。卓上では緑色LEDが点灯中です



ボタン電池と LED のリード線の間にはプラスチックの絶縁板を挿入して完成です